

令和 7 年 6 月定例会

五 島 市 教 育 委 員 会 会 議 録

令和 7 年 6 月 2 7 日

五 島 市 教 育 委 員 会

令和 7 年 6 月 定 例 会 会 議 録

1 日 時 令和 7 年 6 月 2 7 日 (金) 午後 2 時～午後 3 時 40 分

2 場 所 市役所 3 階第 3 委員会室

3 出 席 者 教育委員 道 下 和 之
教育委員 大 島 眞由美
教育委員 門 原 さおり
教育委員 野 原 浩 正
教 育 長 川 端 一

4 欠席委員 なし

5 会議に出席した者の氏名

教 育 総 務 課 長 北 川 数 幸	学 校 教 育 課 長 塩 竈 憲 治
学校教育課課長補佐 森 下 隆 司	総 務 班 係 長 八 尾 政 之
総 務 班 係 長 城 山 直 樹	生涯学習推進班係長 鍋 内 千 亜 喜
学校教育班係長 宮 本 金 一 朗	学 校 教 育 班 係 長 野 口 作 実
文 化 会 館 館 長 野 口 良 美	

(合計／書記含め 15 名)

6 傍 聴 者 なし

7 書 記 教育総務課課長補佐 池 本 佳 孝

8 議題及び議事の概要

○ 教育長が開会を宣告する。（午後2時）

○ 前回会議録の承認

教育長が前回会議録の承認について議題に供し、北川教育総務課長が5月定例会の会議録を説明の後、各委員へ審議を諮ったが、質疑、意見もなく承認された。

○ 教育長報告

・5月25日は、五島市中学校総合体育大会が開催されました。雨の心配がありましたが予定通り全競技実施できました。拠点校である福江中の優勝が多くなっています。

・27日は、教育委員も参加する長崎県教委連の総会及び研修会が佐世保市で開催されました。教育長部会での研修では、「教員の働きがいの推進」と「不祥事の未然防止」に関する県教委の指導と協議がありました。また、「高校改革」では、時間をオーバーするほどの熱の入りようでした。なお、奈留高校の給食開始をオフレコとして紹介してきました。

・30日は、子ども手帳贈呈式がありました。公益財団法人「日本公衆電話会」から、市内小学4年生～6年生の全児童に「子ども手帳」約800冊の寄贈がありました。手帳は、交通ルールや災害時の対応など、防災知識を高め避難訓練等に役立つ内容となっています。

・31日は、公民館運営審議会委員委嘱状交付式がありました。公民館長と主事を除き、運営審議会委員184名中41名が出席され、お一人お一人に委嘱状を手交しました。

・6月1日は、運動会（福江小、緑丘小、盈進小）があり、私は福江小と緑丘小を参観しました。

・3日は、新任校長校訪問で、岐宿小に行き、学校経営についての説明を受け、子どもたちの学習する様子を見てきました。

また、JAより学童傘の贈呈がありました。

・4日、6日、10日は、当初面談（オンライン）がありました。人事評価の結果が給与等に反映されることになり、その業績評価をするに当たっての目標や具体的な方策を決める面談を延べ、3日間かけてオンラインで実施しました。

・5日は、6月定例校長会があり、新教育委員の野原委員に出席していただきご挨拶願いました。「教育は未来を創る」というテーマでのお話で、校長さん方も緊張した表情で聞き入っていました。

- ・7日は、バラモンキング安全祈願祭に出席しました。
- ・8日は、五島市中学校総合体育大会があり、福江中学校の応援団が雨天のため学校で学習となったため、会場は少々さみしい状況ではありました。また、競技においても各種目とも出場選手の数が少なく、共通女子100mHでは2名だったり、地域クラブで参加する選手もいたりして、以前の学校対抗で何レースもあった状況を知っている人は、ある種の喪失感を抱いたのではないかと思います。
- ・11日は、市議会6月議会が開会しました。教育委員会関係の一般質問は、5人の議員からありました。特に、部活動の地域展開や子どもの遊び場づくり、学校の再編成の内容については、教育委員会としての見解をお話してきたものと思っています。議会の詳細については、7月定例会教育委員会で報告したいと思っています。
- ・12日は、第2回教頭研修会があり、紫陽花の花言葉「家族団らん」「和気あいあい」のような現場と行政の関係性を少しでも築けることを願います。
- ・13日は、バラモンキング実行委員会臨時総会及び開会式に参加しました。
- ・15日は、バラモンキングが開催されました。この大会で特筆するところは、ボランティアの方々の奮闘です。高校生を含めた数は3,000名にもおよび選手の数5倍もの数になります。エイドステーションやゴールでのそれぞれの仕事、選手を勇気づける声援や沿道での地元の応援者など、島民の熱い想いがこの大会を支えていると、改めて実感しました。
- ・16日は、バラモンキング 閉会式に参加しました。
- ・23日は、ふるさと大使「和泉妃夏」の表敬訪問がありました。富江小、福江小、富江町の只狩荘で朗読・お話を開催していただきました。本日図書館でも開催されますので、定例会終了後に委員の皆様にも参加していただきたいと思っています。
- ・6月7日～7月11日、「五島っ子の心を見つめる教育週間」について、7月4日に福江中学校が高校生平和大使の福江中出身の海星高校：瀬川さんと呼んで文化会館で講演会を行うことになっています。

○ 議案審議

議案第32号 五島市立学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について

教育長

議案第 32 号「五島市立学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

北川課長

五島市立学校給食共同調理場運営委員会は、共同調理場の運営に関する重要な事項について、審議、調査等を行うために設置する附属機関であります。今回、任期満了に伴い、議案表 2 ページから 3 ページに記載しております方々に委員を委嘱したいため、五島市附属機関等の設置等に関する条例第 4 条及び五島市立学校給食共同調理場運営委員会規則第 2 条の規定に基づき、承認を求めるものであります。任期は令和 7 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日の 2 年間となっています。

以上で説明を終わります。ご審議の程よろしくお願いいたします。

教育長

ただいまの説明でご質問、ご意見はありませんか。

ないようでしたら、この件につきましては、承認といたします。

報告第 11 号 五島市立小・中学校運営協議会委員の委嘱について

教育長

報告第 11 号「五島市立小・中学校運営協議会委員の委嘱について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

北川課長

学校運営協議会委員は、五島市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則第 8 条の定めにより、当該学校に在籍する児童又は生徒の保護者、通学区域内の地域住民、地域コーディネーター、学識経験者、関係行政機関の職員及び教育委員会が適当と認める者の内から、教育委員会が委嘱するもので、委員については 20 名以内となっております。5 ページをご覧ください。表の右欄に「新」と掲載のあるとおり、三井楽小・中学校で役員の交代等で 9 名の変更があっております。

以上で説明を終わります。ご審議の程よろしくお願いいたします。

教育長

ただいまの説明でご質問、ご意見はありませんか。

ないようでしたら、この件につきましては、承認といたします。

○ その他

教育長

先ず、委員の皆様へ前もって送付しておりました「各課具体的施策の進捗状況と課題、令和 6 年度の実績」について協議を行います。このことにつきましては、これまで 5 月の定例教育委員会で資料提供を行っていましたが、今回から数値等が確定する 6 月の定例教育委員会で協議することとしましたので、ご承諾願います。説明と質疑は、資料の 1～6 ページまでの教育総務課分と、7～9 ページの学校教育課分に分けて行います。では、教育総務課から説明をお願いします。

北川課長

1 ページをお開きください。視点 5「安心して学べる教育環境の充実を図ります」の主要施策「大規模改修事業等の推進」については、①各学校の営繕工事、②三井楽中学校トイレ洋式化工事、③校舎照明器具取替工事（本山小学校、富江小学校、翁頭中学校、富江中学校）の 4 校は概ね計画どおり完了しました。7 年度は国の交付金を活用して、①照明器具取替（LED）工事を 3 校、②トイレ洋式化工事を富江中学校で計画しております。①については、全国からの交付金活用に対する需要が増加したことに伴い、国の採択方針が変更になったため不採択となり、現在、追加募集に応募しております。②については、年内に完成する見込みです。

2 ページをご覧ください。次に「小・中学校適正規模・適正配置計画の策定」については、奥浦小学校、盈進小学校と協議を進めてまいりました。盈進小学校は令和 10 年 4 月に富江小学校と統合することになりました。7 年度は奥浦小学校と引き続き協議を進めてまいります。

3 ページをご覧ください。視点 6「ともに学びあう生涯学習・社会教育の充実を図ります」の主要施策「学習機会の提供」につきましては、公民館講座の講座生数 1,400 人を目標としておりますが、令和 6 年度末では 1,096 人となっています。7 年度は講座内容の見直し、充実を図りながら取り組んでまいります。月 1 回以上フェイスブックの更新では、5 年度は 7 館の公民館が更新し 179 回の発信をおこなっていましたが、6 年度は 6 館、177 回となりました。引き続き、情報内容の充実を図りながら取り組んでまいります。「学習成果の還元」につきましては、修正をお願いします。表の中ほどの年度末数値 81 回とその横の合計 81 回を 83 回に訂正願います。申し訳ございません。目標値 50 回に対し、令和 6 年度は 83 回となっております。引き続き、「学び」の取り組みを積極的に取り組んでまいります。

4 ページをご覧ください。「学習拠点の充実」につきましては、公民館施設の長寿命化のため、建替工事や修繕など記載のとおり、9 つの事業を実施しました。「図書館等の充実」についてですが、図書貸出冊数の目標

値が 21 万 6 千冊ですが、令和 6 年度は 17 万 9,296 冊となっています。

「体験活動の実施」についてですが、夏休みを利用して、小学生のサマーキャンプを奈留の宮の森総合公園にて実施し 32 名の参加がありました。中学生 1 年生 18 名が東京方面に旅行し社会体験・学習を行いました。これらに加えて、令和 6 年度は初めて国外体験事業を実施しました。中学生 8 名がシンガポールに旅行し貴重な体験学習を行いました。

5 ページをご覧ください。「青少年健全育成協議会への支援」についてですが、11 月に講演会を実施しました。この講演会でアンケートを実施しました。学校・家庭・地域が連携していると思う人の割合が目標値 95% に対し、89%となりました。また、岐宿、三井楽、玉之浦 3 地区の地域学校協働活動・コミュニティスクールの委員にもアンケートを実施した結果 80%で、合わせますと 85%となります。これからもつなぐ・つながる・つなげる取組を全体的に推進してまいります。

「地域学校協働活動の推進」についてですが、コミュニティスクールは現在、岐宿、三井楽、玉之浦の 3 地区で取り組んでいます。新たに富江地区の設立に向け準備中です。「子どもが活字に親しむ機会づくりの支援」につきましては、読み聞かせ会の開催回数の目標値 25 回に対しまして、51 回と大きく目標を上回りました。「家庭教育学級・子育て出前講座の充実」につきましては、講座への参加者数は目標値 1,000 人を下回っていますが、コロナ明け徐々に参加者が増えています。満足度は目標値をクリアしています。なお、今年度より家庭教育講座を単発で簡単に実施できる「子育て出前講座」に一本化し、利用促進を図る方針です。

6 ページをご覧ください。「文化団体への支援と交流」についてですが、5 地区で文化祭が開催されています。「芸術・文化にふれる機会の創出」についてですが、主に文化庁の採択事業として能・狂言を文化会館で開催しました。7 年度は劇団四季の公演会などを実施する計画となっています。「福江文化会館の整備」についてですが、長寿命化のため、令和 3 年度から令和 9 年度まで順次計画的に改修工事を進めてまいります。

以上で、教育総務課分の説明を終わります。

教育長

ただいま説明がありましたが、何か質疑等はございませんか。

大島委員

文化団体への支援と交流で、新上五島町の文化団体との交流は福江地区のみとありますが、どのような交流を行っていますか。

鍋内係長

福江文化祭の中で開催しているカラオケ大会に新上五島町の文化団体にも参加していただいています。また、福江地区以外の各町でも文化祭は開催していますが、大きな会場である文化会館での参加を呼び掛けてい

ます。

野原委員

小・中学校適正規模・適正配置で、令和 6 年 4 月に統合した奥浦中、崎山中、崎山小、大浜小について、統合後に保護者や地域から話を聞く機会はあるのかということと、奥浦小の話し合いが難しいと感じていますが、地域の取組である「のびふれ体験会」を見守っているとありますが、これは地域が主体的に行っているのですか、具体的にどのようなことをしていますか。

教育長

奥浦小については、地域の方から地域力を生かした取組等で、児童が増えれば学校を存続して欲しいという要望があっていて、それらの取組を見守るための期間をとることを地域の代表者へ説明しています。昨年度は「のびふれ体験会」を行い、地域が学校の良さをアピールしています。教育委員会としては、現在その取組を見守っている状況です。

これらによって児童は実際に増えたのでしょうか。

森下課長補佐

「のびのびふれあいスクール」は校区外から通学できる制度になりますが、6 名がこの制度を使って奥浦小学校に来ている状況です。若干ですが増えていると聞いています。

教育長

この制度は以前からある制度になり、本山小学校でも活用されています。利用する人数では本山小学校の方が多い状況です。

教育委員会としての考え方は、最近の五島市での出生数からすると、15 年後は市全体の小学生の人数が現在の緑丘小学校の人数以下、市全体の中学生の人数が現在の福江中学校の人数以下という推計になりますので、奥浦小学校をどうするかということよりも五島市全体を考えながら再編するという考え方で取り組む必要があると思っています。

奥浦小学校も若干人数が増えているようですが、全児童数からして統合の検討対象に変わりはありませんので、地域と丁寧な話し合いが必要になると考えています。

北川課長

1 点目の統合した 4 校の保護者と統合後の状況についての話し合いは、令和 6 年度の夏休みに入る前の 1 学期に 4 校とも実施しました。今後はこちらから話を聞くということは予定していません。要望など何かありましたら速やかに対応したいと考えています。

2 点目の地域の取組のことについては、体験会の活動主体は「奥小の守」という奥浦地区のまちづくり協議会の中にある組織になりますので、資料では地域の取組という表現をさせてもらっています。

野原委員

素晴らしいと思った取組が、シンガポールへ行っている中学生国外体験学習事業です。国内体験学習も含めて、学習実施後は子ども達がどのようなことをやっていますか。また、旅行先で五島市をPRするようなことがあるのかどうか教えてください。

鍋内係長

五島市のPRについては国内、国外とも実施していません。国内体験、国外体験とも実施前と実施後に研修会を行っています。事後研修では各班に分かれて活動の内容をまとめ、その場で発表してもらっています。国外体験では、実施後にまちづくり協議会と協力して実施した「まちフェス」において発表をしていただきました。また、イングリッシュ・スピーチコンテストの中でも発表の場を設けて発表してもらいました。

教育長

まちフェスでの発表は堂々として良い発表だったと思いました。今の意見の五島市のPRも兼ねる、PR大使みたいな感じで取り組むのも良いアイデアだと思いました。担当課は少し考えてみてください。

野原委員

国内体験、国外体験に参加するための競争率は高いのですか。

鍋内係長

令和6年度の実績で国外体験は8名の定員で24名の申し込みがありました。令和7年度も選考は終了しましたが、12名の定員で27名の申し込みがありました。国内体験は令和6年度の実績では44名の応募があり20名参加となっています。

教育長

私からも良いですか。図書館の充実について、図書の貸出冊数の目標が21万6千冊となっており、令和6年度実績が約17万9千冊となっています。令和5年度実績からも下がっていますが要因はどのように分析していますか。

野口館長

目標冊数は、設定当時に推計人口に目標冊数を乗じて算出していたと思いますが、令和5年度は新図書館開館初年度でもありましたので、新しい施設への興味も含めて来館者も多かったことが貸出冊数が多くなったと思われます。令和6年度は少し落ち着いたために下がっていると考えています。

教育長

リピート率が重要だと思います。現在図書館では絵本の読み聞かせや各種イベントを多くやっているように思います。引き続き実施していくこ

とが、来館者や貸出冊数が増えることにつながると思いますのでよろしくをお願いします。

次に、学校教育課、お願いします。

塩竈課長

令和 6 年度の学校教育課の主要施策の状況を説明いたします。

7 ページをご覧ください。視点 1：未来を切り拓く確かな学力（知）についてです。（1）です。確かな学力の育成を目指す具体的施策として、「五島市版 学力向上のための三つの提案」の周知・徹底を図ってまいりました。数値目標は 98%、実績値は 97.5%（昨年 90.2%）でした。喫緊の課題として「学力向上作戦会議」や校長会などで、呼びかけてまいりました。今年度も「学力向上プラン」の作成や授業改善に向けた「学力向上通信」の発行を進めてまいります。（3）の国際理解・英語（昨年度からグローバル）教育の推進です。外部検定試験の結果を分析し課題解決に向けた授業の研究や、小学校教員を対象とした英語教育の研修を実施してまいりました。小 6 対象英語意識調査の数値目標は 85%、実績値は 86%（昨年度 82%）。児童英語検定の目標は 83%、実績は 83.6%（昨年度 83.4%）。県英語学力検査の県平均に対する市の達成率、数値目標は 105%、実績は 104%（昨年度 95%）となっております。昨年度と比較すると 9 ポイントの上昇が見られ、これまでのプロジェクト G の取組が確実に成果を出していると思います。令和 7 年度は、この結果分析をもとに、授業訪問を強化し、五島の英語教育を盛り上げていきたいと思っております。

8 ページをご覧ください。（4）情報教育の推進についてです。ICT 活用頻度の目標は週あたり 10 回以上、実績は 23.4 回（昨年度 19.2 回）でした。一人一台端末が重要な学習用具のツールとして定着してきています。今後、学校や個人での差をできるだけ少なくするよう ICT 推進員の協力を仰ぎながら進めてまいります。

視点 2：ふるさとを誇りに思う心や豊かな人間性・社会性についてです。

（1）ふるさと教育の推進です。「ふるさと活性化貢献支援事業」では、8 校 800 人という目標に対して、10 校 1,091 人（昨年度 8 校 923 人）の実績となります。昨年度 2 月に開催されたまちフェスにおいては、学習成果の展示発表を行い大変好評でした。そこで今年度、補正予算を組み事業対象を全小中学校へ拡大しました。今後さらに、発達段階に応じて地域貢献への意識が高まると期待しております。

視点 3：健康の維持増進・健やかなからだ（体）についてです。（1）体力の向上と学校体育の推進についてです。体力や運動習慣の二極化が顕著となっている現状を鑑み、基礎的な体力を育成することは大変重要です。運動機会の確保や工夫した運動習慣の継続などを各学校に指導しま

した。今後もバランスのとれた成長の基礎となる体力の増進を推進してまいります。目標は全国体力・運動能力調査の T スコア 50 以上を 34 項目中 27 項目としていましたが、実績は 22 項目（昨年度 23 項目）でした。中学校で全身持久力と投力に優れているが、小学校は筋持久力、小中学校共通で柔軟性と走力（スピード）が課題となっています。③健全育成を目指した部活動の活性化です。平日と週休日の週 2 日の部活動休養日の設定・実施は全ての学校で定着しています。休日の地域部活動移行（展開）については、各種競技の協会を中心に展開が進められてきております。今後、検討委員会及び協議会で指導者や地域クラブの在り方や運営方法について検討を進めていく予定です。

9 ページをご覧ください。視点 4：信頼される学校づくりについてです。

（1）いじめ・不登校対策の充実、特に不登校については、五島市喫緊の教育課題です。学校教育課の重点事項としても取り組んできたところです。指標は「全児童生徒に占める不登校者の出現率」令和 6 年度末の目標は 4.0%としておりましたが、実績は 4.4%（昨年度 3.86%）で、年々増加傾向にあります。一昨年度から取り組んでいる「おはなし交流会」は、保護者や教員の参加もあり盛況であったため、引き続き開催を予定しています。また、SC、SSW の有効活用を進めるとともに、教職員の研修内容の検討、教育支援センターにおける支援体制の充実などを図っていきしたいと思います。（3）教職員が子どもと向き合う環境づくりの推進という観点から、働きやすい職場作りを目指し時間外勤務時間削減に取り組みました。令和 6 年度の 80 時間超えは 0%（昨年度 1.2%）となりました。教育現場の超勤縮減というのはなかなか難しいものがあります。今後も必要な改革を進めてまいりたいと思います。

視点 5：安心して学べる教育環境の充実です。（2）小規模離島における教育環境の振興・充実です。現在、「しま留学生受入事業」に取り組んで 10 年が経過します。令和 6 年度末の受け入れ人数は、しま留学が久賀島で 9 名、奈留島で 0 名、家族留学が久賀島で 1 名、奈留島で 4 名、計 14 名でした。令和 7 年度（4 月現在）の受け入れ人数は、久賀島で 10 名、奈留島 0 名、家族留学が久賀島 1 名、奈留島 4 名、計 15 名でスタートを切っています。今後も子どもを見守る環境を工夫し、しま留学のさらなる充実を図ると同時に、開始から 10 年が経過し、将来のしま留学について再検討する時期だと考えています。

以上で学校教育課分を終わります。

教育長

ただいま説明がありましたが、何か質疑等はございませんか。

大島委員

情報教育の推進について、各家庭の Wifi 環境の整備はどのようになって

いますか。また、いじめ・不登校対策の充実について、不登校解消に向けて、釣り体験や椿工場見学会などいろいろな取組を行っているようですが、その取組の結果、学校に行けるようになった子どもがいたりしますか。

塩竈課長

各家庭での Wifi 環境整備状況としては、小学校が 0.7%、中学校が 0.5%、全体で 0.67%が未整備となっています。世帯数でいくと 11 世帯になります。

宮本係長

未来へつながる確かな一步の事業として、令和 6 年度実績で 6 回実施し、延べ 62 名が参加しています。毎回 10 名程度が参加している状況です。参加した子ども達が学校に登校するようになったかということそれはほとんどありません。ただし、家からほとんど出ないような子どももいますので、家から出るようになったきっかけとしては効果があったのかと思います。そういう意味では第一歩かと考えています。令和 7 年度は、前年度より不登校の数値が低い状況でスタートしていますので取組を大事に進めていきたいと思っています。数値にはこだわっていきますが、学校に行かないことが全て悪だとは考えていません。登校することが全てではないと考えていますので、そういった取組を行っていききたいと思っています。

教育長

学校に行かせることが目的ではないと思っています。人とのつながりを保ちながら、大人になって引き込まれない、誰かとつながっていくということを中心に考えていく。安心して生活できる居場所ができれば良いと思います。

野原委員

ふるさと教育の推進について、各学校の取組は学校ホームページから発信していますか。ふるさと「五島学」は、以前の副教材として「わたしたちの五島市」というものがあったと思いますが、同じようなものですか。

森下課長補佐

もともとは副教材として作った本みたいなものです。それをWEB版にしたものです。WEB版も毎年更新したりしているのですが不十分な所もあります。ふるさと活性化貢献支援事業で取り組んだ実践の結果をこういったところで発信できたらと考えています。各学校がどのような取組を行っているのか分かるような方法を考えています。

教育長

他にございませんか。以上で終了したいと思っています。各課の事業内容、実績等については、前もって言ういただければいつでも情報提供はで

きますので隨時言っていただければと思います。

委員の方からその他で、何かございますか。

ないようでしたら、事務局から報告事項等をお願いします。

北川課長

・奈留高校の給食実施について

奈留高校の給食実施については、これまで市議会一般質問で何度か取り上げられており、市としては高校の要請があつてから検討していくと答弁しておりました。奈留高校と情報交換を進める中で、令和7年1月に、当時の奈留高校校長から、また同年4月に新しく赴任された同校長から、高校給食の実施について依頼を受け、同年5月までに奈留小中学校、奈留高校、学校給食会及び市教育委員会との間で、実施に向けて具体的な協議を複数回行いました。また、6月11日に行われた保健所による給食施設巡回指導の中で、現地確認も行っていただき、衛生面においても、特に問題ないとの回答をいただいておりますが、いくつか注意事項がありましたので、給食開始までに対応したいと考えております。

現在、給食を希望する生徒数について、高校がアンケート調査を行っていますが、条件が整えば、2学期の9月から高校給食を実施したいと考えております。

奈留高校の給食実施については、奈留小中高一貫教育の魅力化と高校生離島留学の推進を目的として取り組むこととしております。給食の実施となりますと、奈留小中高一貫教育の魅力ある取組のひとつとして発信でき、また、しま親の負担軽減など、しま親の確保につながるものと考えております。

教育委員会関係の事業実績等を報告します。

・市議会6月定例会の「議案質疑」、「市政一般質問」、「教育福祉委員会」の内容については、7月定例教育委員会で報告します。

・5月29日、学校給食会臨時理事会がありました。学校給食会会長の交代があり、大窄誠一氏から入江友彦（元小学校校長）となっています。

・31日、第1回公民館連絡協議会を開催しました。役員改選があり、会長が才津成一館長（緑丘地区公民館）、副会長が中村岩雄館長（奥浦地区公民館）となっています。

・6月4日、長崎県社会教育委員連絡協議会総会がありオンラインで出席しました。内容は、令和6年度事業報告及び収支決算報告と令和7年度事業計画及び収支予算案で承認されました。

・23日、五島市海洋少年団総会がありました。7年度より市青少協組織に加入しており、活動の継続・充実を図ることを確認しました。

・7月4日、長崎県社会教育関係者等スキルアップ講座が開催されます。

- ・9日、第1回社会教育委員会議を開催予定です。
- ・18日、少年センター補導員連絡協議会青パト実施者講習会及び親睦会を開催予定です。
- ・22日、小学生交流宿泊体験学習事業を開催予定です。
- ・24日、第2回公民館連絡協議会を開催予定です。
- ・次回定例教育委員会の案内

7月定例教育委員会 7月30日（水）14時から開催予定です。

塩竈課長

学校教育課からは7月の行事予定の主なものについて説明します。

- ・7月2日、県中総体出場校代表者会、市中体連陸上駅伝専門委員会市小体連代表者会が開催されます。
- ・4日、市教育会第1回理事・評議員会が開催されます。
- ・7日、校長会7月定例会が開催されます。
- ・9日、県特別支援教育キャリアマネジメント研修が開催されます。
- ・11日、第3回教頭研修会が開催されます。また、長与町の教育長が来庁され部活動の地域展開についての勉強会を実施してもらう予定です。
- ・12日、社会を明るくする運動中学高校生弁論大会が開催されます。
- ・18日、第1学期終業式です。
- ・24日～25日、中学生イングリッシュキャンプが大浜で開催されます。
- ・22日、26日～28日、長崎県中総体は開催されます。五島市からは10競技に参加します。
- ・29日、高校生議会が開催されます。
- ・24日、30日～1日、就学相談会が4日間開催されます。
- ・学校閉庁日について

学校閉庁期間が8月10日～16日、学校閉庁日は8月12日～15日

池本課長補佐

各支所行事予定を一覧表により報告。

教育長

各課等の報告がありましたが、何か質問等ありましたらお願いします。それでは、各教育委員より5月に佐世保市で開催された教委連研修会に参加されての感想をお願いしたいと思います。

野原委員

私は第2分科会の学力向上の取組に関する分科会に参加しました。協議のテーマが2つあり、主体的・対話的で深い学びに資する授業改善の推進についてとカリキュラム・マネジメントの充実がありましたが、実際の進行はフリートークで自身の考えなどを述べ合うという形で進みました。冒頭に対馬市出身の歌手のミーシャさんの話があり、小学校時代は決して学力が高かったわけではなかったらしいですが、自分のやりた

いことを明確に定めて、積極的に行動を起こして夢に向かって努力を重ねた結果、現在のような活躍に至ったのではないかということでした。それから県教委が作成している学びの習慣化メソッドというパンフレットが話題になりました。このパンフレットは優れた内容であるという声が多くあがりました。特に学びに向かう力として示されている4つの観点、主体的に学ぶ態度、自分を律する力、自分を客観的に把握する力、よりよい生活や人間関係をつくろうとする態度について、各学校で子ども達の具体的な姿を共有しながら教育活動を進めてほしいという話がありました。共有するということが非常に大切ではないかと感じました。さらにパンフレットでは授業外での学びを活かす重要性も強調されており、特別活動や様々な課外活動を通じて総合的な学びを意識することの必要性も語られました。私自身初めて知った概念として認知能力と非認知能力という言葉がありました。認知能力とは、情報を理解処理し問題を解決する力、つまり学校の勉強やテストで測られる力、もう一方の非認知能力は、数値では測りにくい感情のコントロールや人間関係、自己管理にかかわる力ということでした。認知能力が高くても非認知能力が低いと人間関係やストレスに悩むことがあるし、逆に非認知能力が高くても基礎的な学力が伴わなければ将来の選択肢が狭まってしまうという可能性がある、そうした背景から子ども達のやる気を高めていけるように両者をバランスよく育てていくことが大切だということが言われていました。学力の捉え方についても、単なる知識や理解の量ではなく、これからの時代を生き抜く力としての学力が重視されているということが印象深かったです。それから、次期学習指導要領についても話題になりました。現時点では詳細は明らかになっていないとのことでしたが、教育現場は永遠と続く新しい教育課題への対応が大変だろうなと感じました。最後に市教委による学校訪問の際には、授業を見た後に教員への声掛けやねぎらいの言葉をかけることで先生方のモチベーションを高めてほしいという意見もありました。今回5年ぶりに教員の会議のようなものに参加して大きな学びもありました。これからもこういう機会を大切にしていきたいと思いました。

道下委員

私は特別な支援を要する児童生徒への教育支援の分科会に参加しました。事前レクで五島市の課題等を聞かせてもらって、教職員になって5年以内の先生が対応しているということが課題ということを知りました。各市の状況を聞かせてもらう中で、支援とか特別とかという言葉がマイナスのイメージがあるので工夫できないかという話があったり、小学校に上がる前に専門的に対応できると成長の度合いが違うという話があったり、保育園によっては両親に面談をするところもあるそうです。

また、特別な支援をすることに対して、言い寄ってくる保護者もいたりするそうですが、誰のためにやっているかという話をすると、理解してくれる保護者も多いということです。保護者も初めて親になるので分からないことが多く、先生たちにいろいろと聞きたいことがあるようです。先生たちも言いたいことが保護者に伝わっているのかということがあるようです。市によっては、活動の中で馬と触れ合ったりするところもあるようです。程度が重い子どもを持つ保護者については、就職することが不安になっているようです。出口が明るく想像ができると保護者も助かるのではという話もありました。中でも、子どもの特性を理解して、良く子どもを見てやるということが一番印象に残りました。私も指導する中で人に聞いたりしていろいろなことをやるんですけど、うまくいかないこともあります。ある人がとにかく子どもを良く見てやれということと言われたのですが、私はそれがしっくりきました。良く子どもを見るということが大事なのかと改めて感じました。

門原委員

私は今回初めて研修会に参加させていただきました。低年齢化する不登校や問題行動を予防する取組についてというテーマの分科会でした。長崎県のデータを見ると暴力行為や不登校の小学校段階の増加率は、中学校や高校と比較しても高いようです。また、小学校の高学年よりも低学年の増加率が高いようです。これは全国的にこういった傾向があるそうです。ただし、地域によっては当てはまらないところもあるということでした。今回このテーマがでてきたのは、低年齢化してきているので、こうならないために小学校に入る前に、予防するという取組について考えていただきたいということでした。会議はグループワークの形で進められました。私のグループには小児科の先生がいて、乳幼児健診や3歳児健診など実際に診療をした際の話をしてくれました。親に余裕がないことや、子どもが睡眠時間をとれていないことが一番気になると言っていました。今、出生数が減っているとよく言われていますが、子どもが3歳までは育児休業がとれるように、親がしっかり子育てをできるようにする環境づくりが一番必要なのではないかという話がありました。最後にグループごとの発表があったのですが、多くは事後の対応についての話でした。また、グループワークの話の中で、5歳児健診がどこでもやるようになったということでしたが、五島市ではかなり前からやっている所以五島市は進んでいる、恵まれていると思いました。こういった研修会に参加する機会はありませんでしたが、すごく勉強になりました。

教育長

ありがとうございました。

各分科会で他市の状況の話なども聞けて良い研修会になったと思います。

それでは、これをもちまして、教育委員会 6 月定例会を終了いたします。

(午後 3 時 40 分)